

日立の総合力で安定稼働を支援する「日立サポート360」

ハードウェア/ソフトウェアのお問い合わせ窓口を一本化したサポートサービスで、お客さまシステムの問題解決を迅速化。HP社とのグローバルアライアンスを基盤に、日立の経験や技術力を活かしたサポートサービスを提供します。

■お問い合わせ窓口を一本化

サーバ、ストレージ、ネットワーク、OS、ミドルウェアなど、お客さまシステムを構成している個々の製品に対応するサポートを一体化したサービスメニューを提供します。操作方法や障害に関するお問い合わせを1つの窓口で受け付け、複数の製品にまたがって調査しなければならない複雑な問題にも、それぞれの開発エンジニアが一体となって迅速に問題解決を行います。

■システム環境に応じて選べる豊富なメニュー

部門業務サーバから基幹システムまで、お客さまのシステム規模や重要度に応じて選べる3つのサービスグレードを用意。サービス対応時間においても、深夜休日を問わず稼働し続けるシステム向けの「24時間週7日対応」と、平日日中に稼働するシステム向けの「平日8:00～19:00対応」の2種類から選べます。お客さまのシステム環境に応じて、サービスグレード、サービス対応時間、オプションメニューを自由に組み合わせられます。

■日立サポート360

サービスグレード	サービス内容
スーパープレミアム	アカウントサポートとソフトウェアの対策目標の設定により、問題の発生を未然に防ぐとともに、もしもの障害時にも迅速に対応。
プレミアム	・緊急障害を受け付ける専用窓口を開設し、サポートエンジニアがトラブルシューティングを直ちに開始。 ・ソフトウェアのパッチ適用状況などをレポートで提供。
スタンダード	お客さまのシステムを支える基本となるサービス。

サービスグレード	ソフトウェアに対する対策目標の設定	アカウントサポート	特別体制配備	ソフトウェア環境ヘルスチェック	オプションサービス
スーパープレミアム	プロブレムアナリシスノート提供	ハードウェア設置環境ヘルスチェック	オンサイト資料採取サポート	サーバ回復サポート	
プレミアム					
スタンダード	問題解決支援 (Q&A)	問題解決支援 (障害)	情報提供	改良版提供	

●弊社のHP-UXに関するサービスは、下記URL、または営業までお問い合わせください。

<http://www.hitachi.co.jp/soft/support360/>

※本製品には、有寿命部品(HDDなど)が使用されています。長期間使用の場合には、定期的な保守による部品交換が必要になります。詳細については下記「製品情報サイト」をご覧ください。
※本製品のハードウェア保守サービス期限は、製品納入時期より5年間です。
※本製品は日本国内仕様であり、弊社では海外での保守サービスおよび技術サポートは行っていません。

・HP-UXは、米国Hewlett-Packard Companyのオペレーティングシステムの名称です。
・Intel、インテル、Intelロゴ、Intel Insideロゴ、Itanium、Itanium Insideは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
・OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
・SAP、R/3は、SAP AGのドイツ及びその他の国における登録商標または商標です。
・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

PCサーバの廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

OS上でのファイル削除やHDDのフォーマットだけではデータは完全に消去できません。特殊な復旧ソフトなどで読み取られる可能性があります。当社では、HDDデータ消去ユーティリティ「CLEAR-DA」、「CLEAR-DA RAID」を用意しています。



株式会社 日立製作所 ITプラットフォーム事業本部は、株式会社 日立製作所 情報・通信システム社として環境マネジメントシステムに関する国際規格ISO(国際標準化機構)14001:2004の審査を受け、登録された事業本部です。当事業本部では、製品の開発および製造段階における環境問題に積極的に取り組んでいます。

登録番号: EC02J0400 登録日: 1995年7月19日



安全に関するご注意

ご使用の前に必ず製品添付のマニュアルなどの注意事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。また、製品写真は出荷時のものと異なる場合があります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

■製品情報サイト

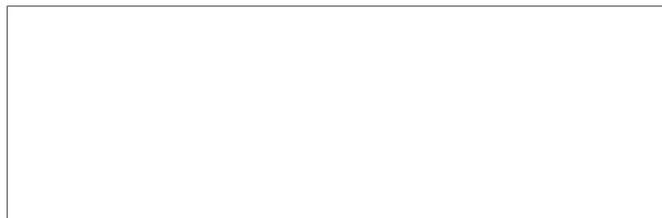
<http://www.hitachi.co.jp/ha8500/>

■インターネットでのお問い合わせ

<http://www.hitachi.co.jp/ha8500-inq/>

■電話でのお問い合わせはHCAセンターへ

☎ 0120-2580-12 利用時間 9:00～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝日を除く)



日立アドバンスサーバ
HA8500シリーズ

HITACHI
Inspire the Next



ミッションクリティカルを支え、ビジネスを躍動させる力。

HA8500series



急激なビジネスの変化への対応とシステムの安定稼働。 すべては、ビジネスの競争力を高めるために。

ミッションクリティカルな業務を支える高信頼性と高可用性。

効率的なサーバ統合やビジネスの成長に応じた柔軟な拡張性を実現する先進の仮想化機能。

そして、長期間にわたって安心して使える確かなサポート。

長年にわたる豊富な実績に基づく高度な技術とノウハウを投入したHA8500シリーズは、

システムのさらなる安定稼働を実現し、サーバの集約化によるTCO削減に貢献、お客さまのビジネスを力強く支えます。

また、ハイエンドモデルからエントリーモデルまで多様なニーズに応えるラインアップを用意。

進化したHA8500がお客さまのビジネス競争力をさらに高めます。

TCO : Total Cost of Ownership



高い処理性能を持つ最新の インテル® Itanium® プロセッサ

マイクロアーキテクチャを一新し、チップあたりのコア数を8コアに倍増したインテル® Itanium® プロセッサ9500製品ファミリーを採用。動作周波数を最大46%^{*1}、メモリー帯域幅を33%^{*1}向上することで、3倍^{*1}の性能向上を実現しました。

*1 インテル® Itanium® プロセッサ9300番台搭載モデル比

ダウンタイムを最小化する高信頼化・高可用性機能

HA8500ではプロセッサレベルからシステム全体にわたり信頼性・可用性を高める技術・機能を採用しています。

- インテル® Itanium® プロセッサ9500製品ファミリーは、命令実行中にエラーが発生したことを検知すると、自動的に命令を再実行してシステム停止を回避できます。
- プロセッサに内蔵するメモリー保護機能「SDDC/DDDC」により、同一メモリーモジュール内のDRAM素子が最大2個故障しても自動的に訂正する機能を備えています。
- SDモデルでは、I/Oカードをオンライン中に交換することが可能で、可用性が高まります。
- 電源、ファン、Onboard Administrator、SDモデルのクロスパーチップなど、主要部品をモジュール化し、冗長構成が可能。万一、1つのモジュールに障害が発生しても処理を継続できます。

最適なリソースの割り当てを実現する仮想化機能

マルチコア化が進むプロセッサを有効活用する仮想化機能に期待が高まる中、ミッションクリティカル業務で実績のあるHA8500の仮想化機能をさらに充実。最適なリソースの配分によりコスト低減に寄与します。

- ハードウェアパーティション (nPars) を、SDモデルに加えて BL870、BL890モデルでもサポート。電氣的に分離する信頼性の高いパーティション技術をミッドレンジクラスでも利用できます。
- ソフトウェアパーティション (vPars and Integrity VM) では vParsとIntegrity VMの2種類の機能をサポート。vParsはプロセッサを占有し、仮想化に伴うオーバーヘッドの少ない仮想化環境を実現できます。一方、Integrity VMIは、プロセッサを共有し同時に多くの処理を行える業務集約率の高い環境を構築できます。また、vParsとIntegrity VMIは、システムの再構築なしで容易に切り替えることができるので、求められる性能、信頼性などの変化に合わせて、柔軟なシステム運用が可能です。
- SDモデルではインスタントキャパシティ機能 (iCAP/GiCAP) を提供。初期投資を抑えながら必要な時に必要なだけのパフォーマンスを提供することが可能です。また、GiCAPによりHAクラスタやDR (ディザスタリカバリ) サイトの冗長構成を低コストで構築することができます。

HA8500series

●業務データ量や処理形態に応じて選べる充実のモデルラインアップ●

ラックマウント型



HA8500/310

4~16コア

ブレード型



HA8500/BL860

4~16コア



HA8500/BL870

8~32コア



HA8500/BL890

16~64コア



HA8500/SD

8~128コア

仮想化機能

vPars and Integrity VM

vPars

Integrity VM

nPars

iCAP/GiCAP

省電力・省エネへの対応

インテル® Itanium® プロセッサ9500製品ファミリーでは、プロセッサあたりの消費電力を低減。メモリーには低電圧版DIMMを採用し、システムで21%*2の省電力化を実現しています。また、電力損失を半減し、業界最高クラスの変換効率94%*3を超える電源を採用しています。さらにブレード型サーバでは、ダイナミックパワーセーバー機能により、電源単体の最大限の効率を引き出すように電力用量に応じて使用する電源の数を調整します。

*2 インテル® Itanium® プロセッサ9300番台搭載モデル比
*3 HA8500/310の電源負荷率50%時

80PLUS® PLATINUM認証取得	HA8500/310, c7000エンクロージャ
80PLUS® GOLD認証取得	HA8500/SD
80PLUS® SILVER認証取得	c3000エンクロージャ

操作性に優れた管理環境の提供

統合管理環境「HP Systems Insight Manager(SIM)」と体系的に整備された多様な管理ツール群により、わかりやすいGUIを用いた容易な操作で障害監視、構成およびワークロード管理などが可能。さらに、ブレード型モデルに搭載する管理ツール「Onboard Administrator」では、内部環境(温度・電圧)の監視やサーバブレード、電源・ファンの状態監視、制御を行い、エンクロージャ内の各部品の効率的な管理を実現します。

10年安心して利用できるミッションクリティカル向けオペレーティングシステム HP-UX

ミッションクリティカル分野で世界中に多くの実績を有するオペレーティングシステム「HP-UX 11i v3」が柔軟性、拡張性、管理性に富んだITプラットフォーム環境を提供。販売開始後10年以上の長期サポートにより、将来に向けて安心してご利用いただけます。さらに、継続的な機能エンハンスも実施します。

多彩なソフトウェアに対応

ミッションクリティカルな業務を支えるハイアベイラビリティ(HA)ソフトウェアServiceguardをはじめとするHP社製ミドルウェア、Oracle® やSAP® R/3® といったISV製品に加え、統合システム運用管理ソフトウェア「JP1」やノンストップデータベース「HiRDB」など実績豊富な日立オープンミドルウェアを提供。日立独自の技術とノウハウで幅広いニーズに応えるシステムを構築できます。

充実の高信頼サポートサービスを提供

ハードウェア/ソフトウェアのお問い合わせ窓口を一本化したサポートサービス「日立サポート360」や、お客さまシステムを24時間遠隔監視する遠隔保守支援システム「ASSIST」を提供。日立の高信頼なサポートサービスでお客さまビジネスの継続性を高めます。

エントリーからハイエンドまで、幅広い製品ラインアップからお客さまのニーズに

ラックマウント型

HA8500/310 F7

省スペース性、プライスパフォーマンスを重視したエントリーサーバ

コンパクトな2Uの筐体に最大16コアのインテル® Itanium® プロセッサ、384GB (ギガバイト) のメモリー、最大6枚のPCI Expressアダプタを搭載可能。vPars and Integrity VMをサポートし、小規模な統合化システムを構築できます。また、低電圧版DIMMと高効率な80PLUS® PLATINUM認証の電源モジュールを採用。21%の省電力化を実現しています。

1U:44.45mm



最大プロセッサ数：2
最大コア数：16

ブレード型

HA8500/BL860 F7、BL870 F7、BL890 F7

ローエンドからミッドレンジクラスまでサポートするスケーラブルなブレード型サーバ

省スペース性に優れたブレード型サーバ。必要な業務量に応じて3種類のサーバを選択可能です。BL890では、最大64コアのインテル® Itanium® プロセッサを搭載し、大規模なSMP構成も可能。仮想化機能として、多くのミッションクリティカル分野で実績があるnParsをサポートし、vPars and Integrity VMとの組み合わせで、さまざまな規模のシステム統合に活用できます。

SMP : Symmetric Multiple Processor

HA8500/BL860 F7



最大プロセッサ数：2
最大コア数：16
デバイスベイ占有数：1

HA8500/BL870 F7



最大プロセッサ数：4
最大コア数：32
デバイスベイ占有数：2

HA8500/BL890 F7



最大プロセッサ数：8
最大コア数：64
デバイスベイ占有数：4

■HA8500仕様

モデル名	310F7				BL860F7					
	GVH310F7 - □□□□□□□□				GVHB86F7 - □□□□□□□□					
プロセッサ	インテル® Itanium® プロセッサ - 9520	インテル® Itanium® プロセッサ - 9550	インテル® Itanium® プロセッサ - 9540	インテル® Itanium® プロセッサ - 9560	インテル® Itanium® プロセッサ - 9520	インテル® Itanium® プロセッサ - 9550	インテル® Itanium® プロセッサ - 9540	インテル® Itanium® プロセッサ - 9560	インテル® Itanium® プロセッサ - 9520	
	動作周波数	1.73GHz	2.40GHz	2.13GHz	2.53GHz	1.73GHz	2.40GHz	2.13GHz	2.53GHz	
	3次キャッシュメモリー容量	20MB	32MB	24MB	32MB	20MB	32MB	24MB	32MB	20MB
最大プロセッサ数 / コア数	2プロセッサ / 8コア		2プロセッサ / 16コア		2プロセッサ / 8コア		2プロセッサ / 16コア		4プロセッサ	
最大メモリー容量	384GB (16GB DIMM × 24)				384GB (16GB DIMM × 24)					
最大内蔵ディスク容量	7.2TB (900GB × 8)				1.8TB (900GB × 2)					
最大I/Oスロット数	6 (PCIeアダプタ)				3 (PCIeメザニン)					
標準インタフェース	1000 BASE-T LAN×4、管理用1000 BASE-T LAN × 1、管理用シリアル × 1、USB × 4*3				10ギガビットEthernet LAN × 4*4、管理用シリアル × 1*5、USB × 2 *3*5					
電源ユニット搭載数	標準1、最大2				-					
ファン搭載数	6				-					
外形寸法 (W×D×H) mm / EIA規格ユニット数	482 × 692 × 89 / 2U				51.6 × 508.5 × 366.3					
エンクロージャ内デバイスベイ占有数	-				1					
最大質量	30.0kg				12.1kg					
最大消費電力	800W (AC100V時)、1.2kW (AC200V時)				850W					
省エネ法に基づく表示 (2011年度規定)	区分	C			C					
省エネ法に基づく表示 (2011年度規定)	エネルギー消費効率*6	4.84	5.34	3.03	2.55	4.84	5.34	3.03	2.55	4.87
電源	AC100V / AC200V単相 (50 / 60Hz)				-					
VCCI基準*8	クラスA情報技術装置				-					
動作環境条件	温度：5～35℃ / 湿度：15～80% (結露しないこと)				温度：10～35℃ / 湿度：15～80% (結露しないこと)					
サポートOS	HP-UX 11i v3				HP-UX 11i v3					

■エンクロージャ仕様

モデル名	e3000	e7000
形名*1	GVOC30A1 - □□□□□□□□	GVOC70B1 - □□□□□□□□
デバイスベイ数	4	8
ファン搭載数	BL860F7 最大搭載数	4
	BL870F7 最大搭載数	2
	BL890F7 最大搭載数	1
インターコネクティブ数	4	8
電源ユニット搭載数	標準 2、最大 6	標準 2、最大 6
ファン搭載数	標準 4、最大 6	標準 4、最大 10
外形寸法 (W×D×H) mm / EIA規格ユニット数	485 × 835 × 265 / 6U	445 × 813 × 442 / 10U
質量	フル搭載時136.0kg (最大)	フル搭載時217.7kg (最大)
電源	AC200V単相 (50 / 60Hz)	
VCCI基準*8	クラスA情報技術装置	
動作環境条件	温度：10～35℃ / 湿度：15～80% (結露しないこと)	

*1 □□□□□□□□には、装置の構成により異なる形名が入ります。

*2 I/O拡張ユニット使用時の最大値です。

*3 すべてのUSB機器について動作を保证するものではありません。

*4 インターコネクティブモジュールの通信速度に依存します。

*5 本体添付の専用ケーブルが必要です。

*6 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能

*7 オプションのPDU (Power Distribution Unit) が必要です。

*8 一般財団法人 VCCI協会基準。

●ハードディスクなどの容量表記は、1kB=1,000/バイトで計算した物理容量です。メモリーの容量表記などで用いる1kB=

適したモデルをお選びいただけます。

エンクロージャ

c3000、c7000

システムの規模に応じて、ブレード型サーバを格納する2種類のエンクロージャを選択可能。内部環境(温度・電圧)の監視やサーバブレード、電源・ファンの状態監視、制御を行う管理ツール「Onboard Administrator」により、エンクロージャに搭載するサーバを統合管理できます。

c3000



デバイスベイ数：4

c7000



デバイスベイ数：8

HA8500/SD F7

仮想化機能の活用によりTCOを削減可能な ハイエンドブレードサーバ

最大128コアのインテル® Itanium® プロセッサを搭載。クロスバーアーキテクチャを採用して、SMPの高いスケーラビリティやI/Oの高い拡張性を実現。nPars/vPars/Integrity VM、インスタントキャパシティ(iCAP/GiCAP)など最先端の仮想化機能を駆使した柔軟で高信頼の仮想化環境を構築できます。また、HA8500/SD E6モデルのブレードを混在して搭載可能*です。



セルブレード

最大プロセッサ数：16
最大コア数：128

*パーティションを分ける必要があります。

BL870F7 GVHB87F7- □□□□□□□□			BL890F7 GVHB89F7- □□□□□□□□				SDF7(8プロセッサ-SMPモデル) GVHSD1F7- □□□□□□□□		SDF7(16プロセッサ-SMPモデル) GVHSD2F7- □□□□□□□□	
インテル® Itanium® プロセッサ- 9550	インテル® Itanium® プロセッサ- 9540	インテル® Itanium® プロセッサ- 9560	インテル® Itanium® プロセッサ- 9520	インテル® Itanium® プロセッサ- 9550	インテル® Itanium® プロセッサ- 9540	インテル® Itanium® プロセッサ- 9560	インテル® Itanium® プロセッサ- 9540	インテル® Itanium® プロセッサ- 9560	インテル® Itanium® プロセッサ- 9540	インテル® Itanium® プロセッサ- 9560
2.40GHz	2.13GHz	2.53GHz	1.73GHz	2.40GHz	2.13GHz	2.53GHz	2.13GHz	2.53GHz	2.13GHz	2.53GHz
32MB	24MB	32MB	20MB	32MB	24MB	32MB	24MB	32MB	24MB	32MB
/16コア 4プロセッサ/32コア			8プロセッサ/32コア				8プロセッサ/64コア		16プロセッサ/128コア	
768GB(16GB DIMM × 48)			1,536GB(16GB DIMM × 96)				2,048GB(8GB DIMM × 256) ^(1パーティションあたり最大1,024GB)		2,048GB(8GB DIMM × 256)	
3.6TB(900GB × 4)			7.2TB(900GB × 8)				-		-	
6(PCIeメザニン)			12(PCIeメザニン)				48(PCIeアダプタ) ^{*2}		96(PCIeアダプタ) ^{*2}	
Ethernet LAN × 8 ^{*4} 、管理用シリアル × 1 ^{*5} 、USB × 2 ^{*3*5}			10ギガビットEthernet LAN × 16 ^{*4} 、管理用シリアル × 1 ^{*5} 、USB × 2 ^{*3*5}				10ギガビットEthernet LAN × 4(セルブレード単位) ^{*5} 、USB × 2(セルブレード単位) ^{*3*5} 管理用1000 BASE-T LAN × 2、管理用シリアル × 2		標準6、最大12	
-			-				-		15	
104.9 × 509.3 × 366.3			208.2 × 509.3 × 366.3				447 × 828 × 798 / 18U		-	
2			4				-		-	
24.1kg			48.1kg				314kg		-	
1.7kW			3.4kW				8.82kW		-	
C			D				E		-	
5.37	3.05	2.56	4.88	5.38	3.05	2.57	4.67	3.93	4.67	3.93
-			-				-		-	
-			-				-		-	
温度：10~35°C / 湿度：15~80%(結露しないこと)			温度：10~35°C / 湿度：15~80%(結露しないこと)				温度：15~32°C / 湿度：20~80%(結露しないこと)		-	
HP-UX 11i v3			HP-UX 11i v3				HP-UX 11i v3		-	

(GTOPS)で除いたものです。また、インテル® Itanium® プロセッサを搭載したサーバは省エネ法においてはRISCに区別されます。

1,024バイトで 計算した容量とは表記上同容量でも、実容量は少なくなります。

サーバ統合や柔軟な拡張性でTCO削減をもたらす 進化したHA8500/HP-UXの仮想化機能。

プロセッサのマルチコア化の進展に伴い、ITシステムのTCO削減に向けた、

サーバの仮想化による複数システムの集約・統合の動きが加速しています。

加えて、急激なビジネス環境の変化に対応するため、サーバの仮想化機能もつ柔軟な拡張性への要求も高まっています。

HA8500は高度な仮想化ソリューションとしてパーティショニング機能やインスタントキャパシティ機能を提供。

オーバーヘッドの少ない、柔軟な仮想化環境を実現します。

パーティショニング機能

nPartitions(nPars) 信頼性の高いパーティションの提供(ハードウェアパーティション) (対応モデル: HA8500/SD, BL890, BL870)

1筐体内をブレード単位で分割し、各パーティション間を電氣的に分離。1つのパーティションで生じた故障の影響を最小限に閉じ込めます。

vPars and HP Integrity Virtual Machines (vPars and Integrity VM)

リソースの柔軟な活用(ソフトウェアパーティション) (対応モデル: 全モデル)

従来から提供している仮想パーティション(vPars)と仮想マシン(VM)の機能を統合した、低オーバーヘッドと柔軟なリソース割り当てを兼ね備える仮想化ソフトウェア。プロセッサ、メモリー、I/O(ストレージ、ネットワーク)を仮想化することで、単一のnParsまたはサーバ内に、仮想サーバ(vParsまたはVM)を実現します。それぞれの仮想サーバで、OSを独立して動作させることができます。

vPars機能

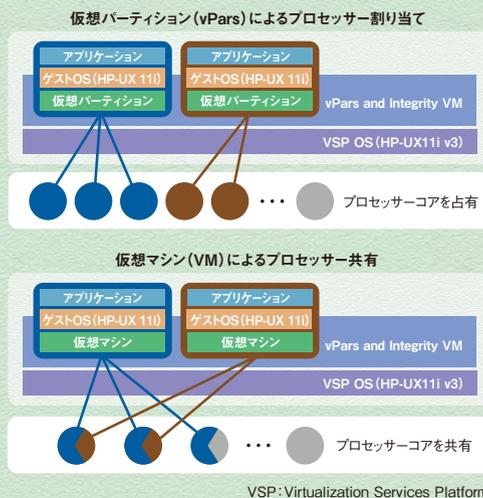
プロセッサをコア単位に分割し、各パーティションで占有することにより、低オーバーヘッドなパーティション機能を提供します。また、コアの割り当てをOS動作中にvPars間で動的に変更することができます。

VM機能

プロセッサコアをVM間で共有して使用するため、限られたプロセッサリソースで仮想化環境を実現。オンラインVMマイグレーション機能(オプション)により、ゲストOSを稼働状態のまま別のサーバへ移行することができます。

vParsとVM共通機能

I/Oリソース(ストレージ、ネットワーク)の占有/共有を選択できます。占有する場合、Direct I/Oネットワーク機能やN_Port ID Virtualization(NPIV)機能によるダイレクトアクセスで、オーバーヘッドを小さくすることができます。また、I/Oリソースを共有する場合には、少ないI/Oスロットのサーバでも仮想化環境を構築可能。さらに、vParsとVMは、簡単な操作で切り替えることができるため、開発・テスト段階はVM、本番稼働はvParsを適用するなど、性能や信頼性、柔軟性に応じたシステム運用ができます。

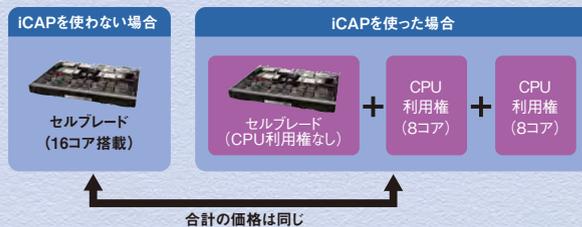


インスタントキャパシティ

インスタントキャパシティ iCAP

必要な時に必要なだけのプロセッサリソースを活用 (対応モデル: HA8500/SD)

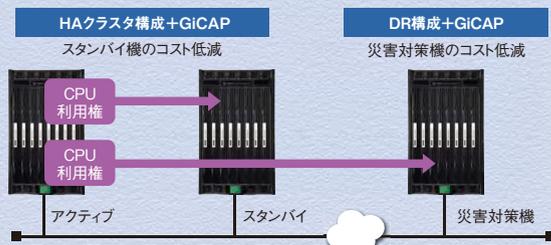
セルブレードとCPU利用権を別々に購入いただくことで、初期投資を抑えながら、必要な時に必要なだけのパフォーマンスを提供。CPU利用権はコア単位で割り当てることができ、1コアのパーティションを作ることも可能です。



グローバルインスタントキャパシティ GiCAP

HAクラスタ、DR構成のコスト削減 (対応モデル: HA8500/SD)

複数のSD筐体間でCPU利用権を共有する機能。HAクラスタやDR構成など冗長性を求められるシステムのコスト削減が可能です。例えば、HAクラスタでアクティブなサーバからスタンバイしているサーバに切り替える際、アクティブなサーバのCPU利用権を引き継ぐことができます。



エンタープライズシステムを支える高度な可用性、運用性、セキュリティを兼ね備えたオペレーティングシステム。

ミッションクリティカル分野で多くの実績を持つHP-UX 11i v3が、セキュリティおよびスケーラビリティをさらに強化するとともに10年以上の長期サポートを提供します。さらに、vPars and Integrity VM、Virtual Partitionsなどの仮想化機能による柔軟なシステムリソース設定を実現。HP-UX 11i v3とインテル® Itanium® プロセッサ搭載サーバの組み合わせが、ミッションクリティカルなデータベース、意思決定支援システム、電子商取引、業務改革などさまざまなビジネスシーンを支えます。

■製品体系

HP-UX 11i v3は多様なサービスの実装に向けて、用途ごとのプラットフォーム構築に適切なソフトウェアコンポーネントを組み合わせたオペレーティング環境(OE)を提供。OEはソフトウェアコンポーネント間の密接な統合、容易なライセンス管理、分かりやすいサポート契約、多数のコンポーネントの容易なインストールなど、オペレーティングシステム(OS)だけでは実現できない価値を提供します。



お客様の用途にあわせて選択可能な4つのオペレーティング環境

■標準的なソフトウェア

Base OE (BOE)

- 各種ネットワークドライバ
- システム管理機能 (Ignite-UX、Software Distributor など)
- JVM、Web Server Suite
- HP Directory Server
- Auto Port Aggregation (APA)
- Process Resource Manager (PRM) など

■高信頼なサーバ環境を構築する際に適したソフトウェア

High Availability OE (HA-OE)

- Base OEに含まれるソフトウェア
- MirrorDisk/UX
- Serviceguard
- Serviceguard Extension for RAC
- ECM Toolkit
- NFS Toolkit
- Online JFS
- GlancePlus Pak
- EMS HA Monitors

■仮想サーバ環境を活用する際に適したソフトウェア

Virtual Server OE (VSE-OE)

- Base OEに含まれるソフトウェア
- MirrorDisk/UX
- Insight Dynamics-VSE Suite
(gWLM または WLM、vPars and Integrity VM または vPars)
(Capacity Advisor、Virtualization Manager)
- Online JFS
- GlancePlus Pak
- EMS HA Monitors

■ミッションクリティカルなデータセンタに適したソフトウェア

Data Center OE (DC-OE)

- Base OEに含まれるソフトウェア
- High Availability OEに含まれるソフトウェア
- Virtual Server OEに含まれるソフトウェア

迅速な保守サービスを実現する遠隔保守支援システム「ASSIST」

ASSISTは、お客様のシステムとサポートセンタを通信回線で結び、技術支援および情報支援を行うシステムです。障害を未然に防ぐため、常時お客様のシステムを遠隔監視し、万一の場合には技術者が支援システムとデータベースを駆使して、短時間で的確なサービスを実施します。

ASSIST : Advanced Service Support Information System Technology

